



環境経営レポート

対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日



作成日：2023年12月20日



恵和興業株式会社 および
ケイワ・エコグリーン株式会社

目次

1. 組織の概要.....	2
2. 沿革.....	4
3. 登録認定許可一覧.....	5
4. 処理の流れ.....	9
5. 廃棄物の運搬量・受託量・処分量.....	14
6. 環境経営方針.....	15
7. 実施体制.....	16
8. 役割・権限・責任.....	17
9. 環境経営目標（単年度および中長期）.....	18
10. 環境経営計画.....	19
11. 環境経営目標およびその実績.....	20
12. 環境活動状況.....	21
13. 環境経営計画および取組結果とその評価.....	23
14. 環境関連法規等 遵守状況の確認と評価.....	24
15. 代表者による全体評価と見直しの結果.....	25
16. 次年度の環境経営計画.....	26

1. 組織の概要

1. 概要

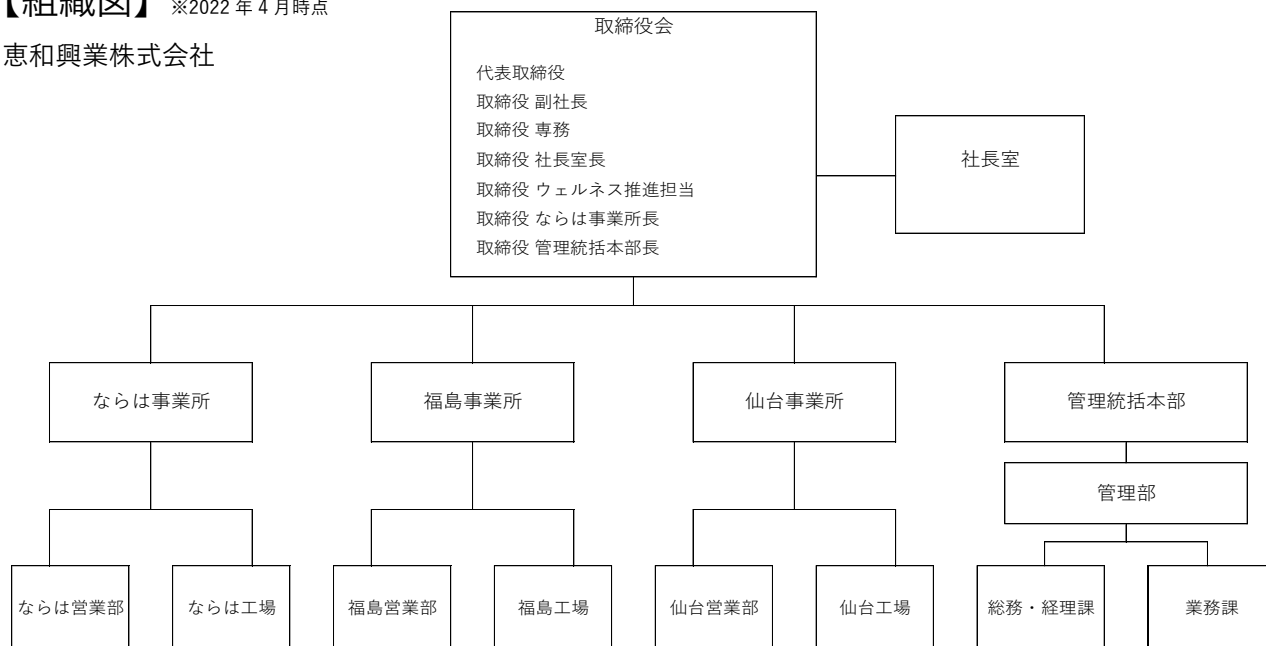
恵和興業株式会社およびケイワ・エコグリーン株式会社は 2020 年 10 月より本取組を開始しました。
社員一人一人が持続可能な社会へ向け 5 事業所統一して環境活動に取り組んでいます。

2. 会社情報 ※2022 年 4 月時点

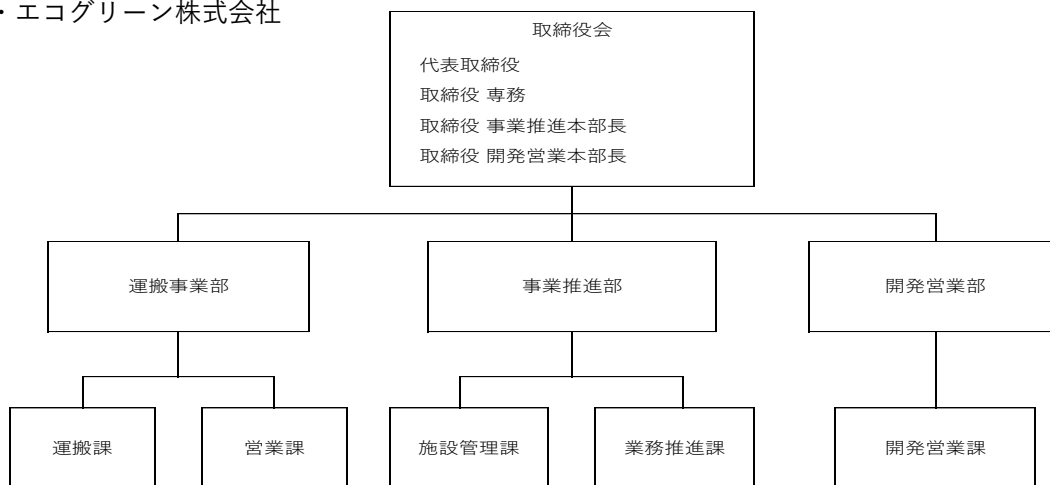
会社名	恵和興業株式会社（統括会社）	ケイワ・エコグリーン株式会社
代表者氏名	代表取締役 笹川 慎太郎	代表取締役 笹川 裕二郎
設立	昭和 52 年 4 月 14 日	平成 18 年 5 月 1 日
資本金	1,000 万円	1,000 万円
事業内容	産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物中間処分業 一般廃棄物中間処分業 再生路盤材及び再生木チップの製造・販売 木質バイオマス発電事業 共同浄化槽の管理	産業廃棄物および特別管理廃棄物収集運搬業
所在地	【本社】 宮城県仙台市泉区西田中字杭城山 55-6 【管理統括本部】 福島県福島市上鳥渡字しのぶ台 4-6 【ケイワ・リサイクルセンター福島】 福島県福島市荒井字北一の坂 3-1 【ケイワ・ゼロエミプラントならは】 福島県双葉郡檜葉町大字山田岡仲丸 1-35 【ケイワ・リサイクルセンター仙台】 宮城県仙台市泉区西田中字杭城山 47-1 【ケイワ・ゼロエミプラント仙台】 宮城県仙台市泉区西田中字杭城山 55-6 【ケイワ・エネルギーステーション仙台】 宮城県仙台市泉区西田中字杭城山 47-9	福島県郡山市西田町鬼生田字大谷地 410-1
従業員数	93 名	31 名
対象範囲	全活動・全組織	
売上額	308,300 万円（2022 年度 恵和興業、ケイワ・エコグリーン合計）	
環境管理責任者 および担当者	代表責任者 恵和興業株式会社 代表取締役 笹川 慎太郎 環境管理責任者 ケイワ・エコグリーン株式会社 取締役開発営業本部長 西谷 友里 環境事務局 恵和興業株式会社 仙台事業所仙台営業部 主任 熊谷 伊豆美	

【組織図】 ※2022年4月時点

恵和興業株式会社



ケイワ・エコグリーン株式会社



【社是】

おそ 恐れず おご 驕らず あなど 侮らず

【理念】

経営理念

日本の発展に貢献できる人材を創出する

行動目標

地域に寄り添った持続性の高いサービスを提供する

価値観

- ・ 一期一会
- ・ ご縁に感謝
- ・ 念ずれば花ひらく
- ・ 試行錯誤、まずはやってみよう

コーポレートスローガン

わを広げ、和で満たす



コーポレートマーク

「わ」を広げ、和で満たすというビジョンから、つながりや循環をイメージさせる∞(無限大)を縦横に重ね会社の紋としました。

循環型社会の構築に取り組み、次なる環境リサイクル事業実現の可能性を込めています。

2. 沿革

昭和 52 年 4 月	福島市南沢又「誠和興業株式会社」を設立
昭和 57 年 2 月	福島市上鳥渡「しのぶ台サントウン」宅地開発事業
昭和 59 年 2 月	社名を「恵和興業株式会社」に変更
昭和 60 年 1 月	本社を仙台市青葉区みやぎ台に移転
昭和 61 年 9 月	仙台市青葉区一番町にレストランバー「Cay one」を開業
昭和 62 年 8 月	福島市上鳥渡に「福島営業所」を設置
昭和 62 年 9 月	福島市荒井に「一の坂最終処分場」を設置 産業廃棄物処理業開始（福島県許可 収集運搬・最終処分業）
平成 1 年 11 月	処分場増設に伴う変更許可および増設工事
平成 2 年 7 月	福島市内にゴルフ&リゾート開発事業のコンサルタント業務
平成 3 年 2 月	八戸市に収集運搬会社「株式会社ケイワ」を設立 収集運搬業青森県許可取得
平成 3 年 10 月	秋田市内ゴルフ場開発事業のコンサルタント業務
平成 3 年 12 月	処分場増設に伴う変更許可および増設工事
平成 4 年 11 月	株式会社ケイワを「ケイワトランスポート株式会社」に社名変更 本店を福島営業所内に移転
平成 4 年 12 月	処分場開発会社「株式会社ケイワ・イージェック」を福島営業所内に設立 ゼネコン 95 社と共同で福島市内に最終処分場・中間処理場・保養センターを併設する 総合リサイクルセンターを計画 レストランバーCay one 閉鎖
平成 5 年 2 月	ケイワトランスポート株式会社の収集運搬業許可範囲拡大 福島県・東京都・埼玉県・川崎市・横浜市許可取得
平成 6 年 4 月	小型溶融炉「K&D スーパーチャージャー」開発
平成 10 年 4 月	株式会社ケイワ・イージェックを解散
平成 11 年 6 月	一の坂中間処理リサイクルセンター（福島リサイクルセンター）開業 消滅型処理から循環型処理への転換
平成 13 年 4 月	仙台市泉区西田中に「ケイワ・リサイクルセンター仙台」開設
平成 15 年 8 月	「ケイワ・リサイクルセンター仙台」の焼却炉改造（ダイオキシン対応）
平成 15 年 10 月	相馬市に環境事業開発会社「株式会社エコフル」設立
平成 17 年 2 月	協力業者会「ケイワ会」発足
平成 17 年 11 月	一般廃棄物処理業開始（福島県許可 木くずの中間処理）
平成 18 年 5 月	郡山市西田町鬼生田に「ケイワ・エコグリーン株式会社」設立
平成 19 年 12 月	仙台市泉区西田中に「ケイワ・ゼロエミプラント仙台」開設
平成 20 年 3 月	「福島リサイクルセンター」を「ケイワ・リサイクルセンター福島」に名称変更
平成 23 年 12 月	代表取締役変更 本社を仙台市泉区西田中へ移転
平成 24 年 10 月	宮城県災害廃棄物処理業務（気仙沼ブロック（南三陸処理区））において 清水建設 JV 造粒前処理施設・造粒施設の運営管理業務を受託 平成 25 年 10 月に完了し造粒処理により 61,000 t の復興資材を製造
平成 26 年 3 月	安定型最終処分場の埋立処分終了
平成 27 年 6 月	「ケイワ・リサイクルセンター仙台」破砕プラントリニューアルオープン

平成 27 年 12 月	「事業統括本部」社屋新築移転
平成 29 年 2 月	「ケイワ・リサイクルセンター仙台」焼却プラント廃止
平成 29 年 3 月	「ケイワ・エネルギーステーション仙台」開設
平成 29 年 5 月	福島県双葉郡楡葉町に「ケイワ・ゼロエミプラントならは」開設
平成 31 年 1 月	代表取締役変更
令和 2 年 1 月	「本社」新社屋落成
令和 2 年 8 月	「株式会社竹内建設」と資本提携
令和 2 年 9 月	「関東営業所」開設
令和 3 年 9 月	「ケイワ・リサイクルセンター福島」リニューアルオープン
令和 4 年 5 月	福島市荒井一の坂最終処分場を廃止
令和 4 年 8 月	ケイワ・エコグリーン株式会社新社屋落成

3. 登録認定許可一覧

○恵和興業株式会社

業種	許可番号	交付年月日	施設の種類の、産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式等
		有効年月日	
産業廃棄物処分業	仙台市許可 第 05420045090 号	令和 3 年 9 月 10 日 令和 8 年 8 月 31 日	事業区分：中間処理 設置場所：①宮城県仙台市泉区西田中宇杭城山 47-1 ケイワ・リサイクルセンター仙台 処理方式：破碎 処理能力(8 時間)：がれき類 446.4t/日 ②宮城県仙台市泉区西田中宇杭城山 55-6 ケイワ・ゼロエミプラント仙台 処理方式：破碎（選別・造粒工程を含む） 処理能力(8 時間)：[選別・造粒工程を含まない場合] 廃プラスチック類 16.6 t/日 紙くず 15.8 t/日 木くず 34.0 t/日 繊維くず 25.0 t/日 金属くず 51.6 t/日 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 156.8 t/日 がれき類 232.8 t/日 混合 160.4 t/日 [選別・造粒工程を含む場合] 混合 150.3 t/日 産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（これらのうち自動車等破砕物及び石綿含有廃棄物を除く）
	福島市許可 第 12420045090 号	令和 4 年 1 月 20 日 令和 8 年 12 月 23 日	事業区分：中間処理 設置場所：福島県福島市荒井字北一の坂 3-1 ケイワ・リサイクルセンター福島 処理方式・処理能力： 破碎選別 55.3 t/日(8 時間) 破碎（木くずの破碎処理）80 t/日(8 時間) （廃プラスチック類の破碎施設兼木くずの破碎施設兼がれき類の破碎施設） （12 時間） 廃プラスチック類 84.11 t/日 紙くず 72.09 t/日 木くず 431.77 t/日 繊維くず 67.29 t/日 金属くず 162.93 t/日 ガラスくず、コンクリートく ず及び陶磁器くず 720.95 t/日 がれき類 592.78 t/日 （がれき類の破碎施設）（12 時間） ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 180.0 t/日 がれき類 300.0 t/日 選別破碎（廃プラスチック類の破碎施設兼木くずの破碎施設兼がれき類の破 砕施設）（12 時間）

			<p>廃プラスチック類 106.8 t/日 紙くず 91.2 t/日 木くず 168.0 t/日 繊維くず 36.0 t/日 金属くず 344.4 t/日 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 180.0 t/日 がれき類 300.0 t/日</p>
	<p>福島県許可 第 00720045090 号</p>	<p>令和 4 年 4 月 20 日 令和 8 年 12 月 23 日</p>	<p>設置場所：福島県双葉郡楡葉町大字山田岡字仲丸 1-35 ケイワ・ゼロエミプラントならば</p> <p>事業区分：中間処理 処理方式：破砕 処理能力：廃プラスチック類 87.15 t/日(12 時間) 紙くず 74.7 t/日 木くず 447.38 t/日 繊維くず 69.72 t/日 金属くず 168.83 t/日 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 747.02 t/日 がれき類 614.22 t/日 処理方式：選別・破砕 処理能力：廃プラスチック類 68.4 t/日、紙くず 58.8 t/日、木くず 108 t/日、繊維くず 24 t/日、金属くず 220.8 t/日、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 195.6 t/日、がれき類 289.2 t/日(12 時間) 処理方式：造粒固化 処理能力：燃え殻 141.17 t/日、汚泥 141.17 t/日、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 141.17 t/日、がれき類 141.17 t/日、ばいじん 112.94 t/日(12 時間) 処理方式：圧縮梱包 処理能力：廃プラスチック類 5.33 t/日、紙くず 5.09 t/日、繊維くず 2.54 t/日、金属くず 7.93 t/日、ガラスくず(ロックウール) 4.66 t/日、コンクリートくず及び陶磁器くず 3.77 t/日、がれき類(ロックウール) 4.66 t/日、がれき類(グラスウール) 3.77 t/日、混合廃棄物(木くず含む) 4.79 t/日(12 時間) 産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類(これらのうち石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く) 産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、がれき類(これらのうち石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く)</p>
一般廃棄物処分業	<p>福島市許可 第 66 号</p>	<p>令和 3 年 10 月 7 日 令和 5 年 10 月 6 日</p>	<p>木くず</p>
産業廃棄物 収集運搬業	<p>宮城県許可 第 00400045090 号</p>	<p>令和 3 年 9 月 1 日 令和 8 年 8 月 31 日</p>	<p>積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉋さい、がれき類、ばいじん(これらのうち石綿含有産業廃棄物を含む。廃プラスチック類、金属くず並びにガラスくず及び陶磁器くずは自動車等破砕物を除く)</p>
	<p>福島県許可 第 00707045090 号</p>	<p>令和 4 年 1 月 4 日 令和 8 年 12 月 23 日</p>	<p>積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器くず、鉋さい、がれき類、ばいじん(これらのうち石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)</p>

○ケイワ・エコグリーン株式会社

特別管理産業廃棄物 収集運搬業	<p>仙台市許可 第 05452074507 号</p>	<p>平成 30 年 10 月 16 日 令和 5 年 10 月 2 日</p>	<p>積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻(カドミニウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、セレン又はその化合物、ダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る) 廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。) 鉋さい(カドミニウム又はその化合物、鉛又はその化合物を含むことのみにより有害なものに限る。ばいじん(カドミニウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、セレン又はその化合物、ダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る) 感染性産業廃棄物、廃石綿等</p>
--------------------	-----------------------------------	---	--

	福島県許可 第 00752074507 号	平成 31 年 3 月 28 日 令和 6 年 2 月 8 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）ばいじん（カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、セレン又はその化合物、六価クロム化合物、砒素若しくはダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。）燃え殻（カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、セレン又はその化合物、六価クロム化合物、砒素若しくはダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る） 感染性産業廃棄物、廃石綿等
産業廃棄物 収集運搬業	宮城県許可 第 00400074507 号	令和 3 年 12 月 7 日 令和 8 年 12 月 6 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥（石綿含有産業廃棄物を除く。）、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む。）、鉱さい、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）（これらのうち水銀使用製品産業廃棄物を含む。水銀含有ばいじん等を除く。廃プラスチック類、金属くず並びにガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは、自動車等破砕物を除く。）
	福島県許可 第 00702074507 号	令和 3 年 12 月 27 日 令和 8 年 11 月 25 日	積替え保管の有無：無 ※積替え保管許可は郡山市収集運搬業許可で取得（許可番号 08711074507） 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥（含水率 85% 以下のものに限る）、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん（これらのうち石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
	郡山市許可 第 08711074507 号	令和 3 年 10 月 11 日 令和 8 年 10 月 9 日	積替え保管の有無：有 積替え又は保管施設の所在地： 福島県郡山市西田町鬼生田字大谷地 410-1 保管面積と上限：廃プラスチック類(25.0m ² ・50.0m ³)、紙くず(2.5m ² ・5.0m ³)、木くず(30.65m ² ・61.3m ³)、繊維くず(1.67m ² ・3.33m ³)、ゴムくず(1.67m ² ・3.33m ³)、金属くず(4.0m ² ・8.0m ³)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(4.0m ² ・1.4m ³)、がれき類(5.38m ² ・10.76m ³) 産業廃棄物の種類： ① 積替え保管行為を含むもの 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、がれき類（これらのうち水銀使用製品産業廃棄物及び石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。） ② 積替え保管を含まないもの 燃え殻、汚泥（含水率が 85 パーセント以下のものに限る）、鉱さい、ばいじん（これらのうち水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
	茨城県許可 第 00801074507 号	平成 30 年 8 月 22 日 令和 5 年 8 月 21 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻（水銀含有ばいじん等を除く）、汚泥（含水率 85% 以下のものに限る）、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く）、廃プラスチック類（自動車等破砕物及び水銀使用製品産業廃棄物を除き、石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず（自動車等破砕物及び水銀使用製品産業廃棄物を除く）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び水銀使用製品産業廃棄物を除き、石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
	山形県許可 第 00609074507 号	令和 2 年 4 月 20 日 令和 7 年 4 月 19 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥（含水率 85% 以下のものに限る）、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん

栃木県許可 第 00900074507 号	平成 31 年 3 月 28 日 令和 6 年 3 月 27 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
群馬県許可 第 01000074507 号	令和元年 12 月 24 日 令和 6 年 12 月 23 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん
埼玉県許可 第 01100074507 号	平成 31 年 3 月 27 日 令和 6 年 3 月 26 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）及び陶磁器くず、がれき類
千葉県許可 第 01200074507 号	令和 3 年 4 月 8 日 令和 8 年 4 月 7 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥、廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず（自動車等破砕物を除く）、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く）、がれき類、ばいじん（これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く）
東京都許可 第 01300074507 号	令和 3 年 4 月 9 日 令和 8 年 4 月 8 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん
神奈川県許可 第 01400074507 号	令和 3 年 2 月 17 日 令和 8 年 2 月 16 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：(特別管理産業廃棄物であるものを除く。)燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類、ばいじん

○製品認定

宮城県グリーン製品認定 (ケイワ・リサイクルセンター仙台)	令和 3 年 10 月 1 日 令和 6 年 9 月 30 日	造粒再生砕石「RCB-40KS」
	令和 3 年 10 月 1 日 令和 6 年 9 月 30 日	再生砕石「RC-40」
うつくしま、エコリサイクル製品認定 (ケイワ・ゼロエミプラントならば)	令和 2 年 10 月 1 日 令和 5 年 9 月 30 日	造粒石

○運搬登録車両 ※2022 年 12 月時点

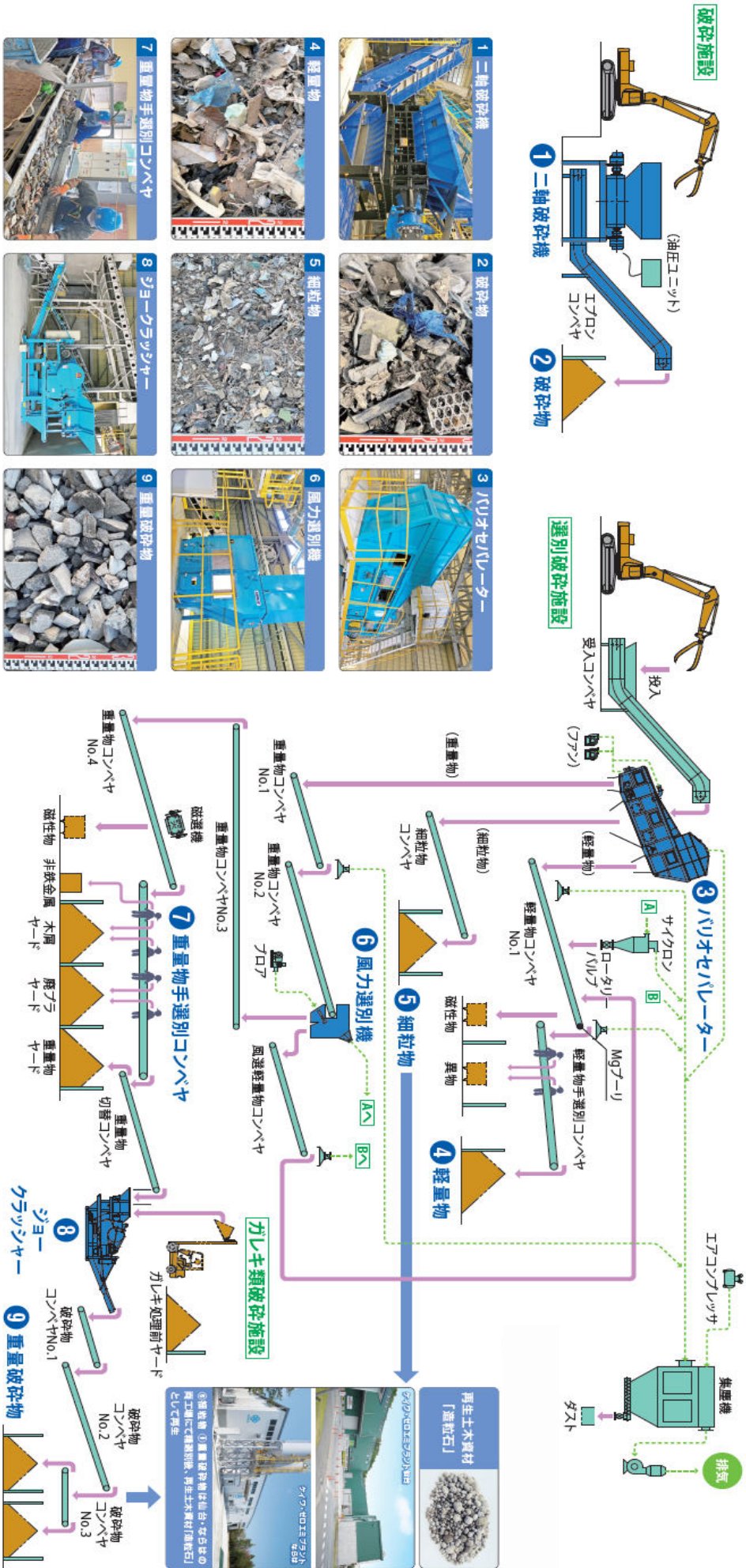
<恵和興業株式会社>

・積載型トラッククレーン車	1 台	・キャブオーバー	2 台
・着脱式コンテナ	3 台	・バン	1 台
・大型 ダンプ車	6 台	・ステーションワゴン	2 台

<ケイワ・エコグリーン株式会社>

・積載型トラッククレーン車	8 台	・ダンプ車（大型、深）	6 台
・着脱式コンテナ	3 台	・バン	1 台

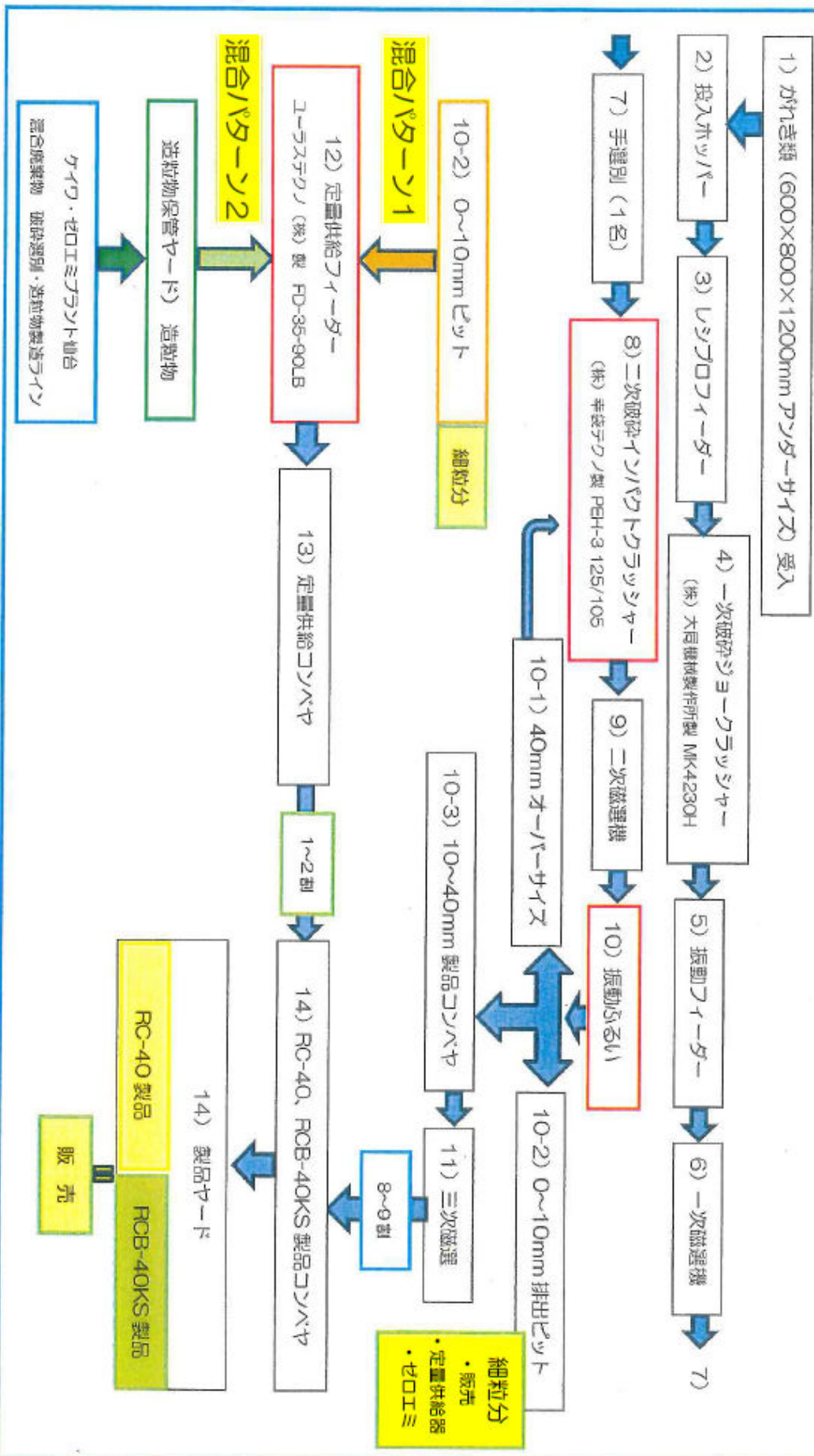
ケイワ・リサイクルセンター福島 選別破砕プラント処理フロー図

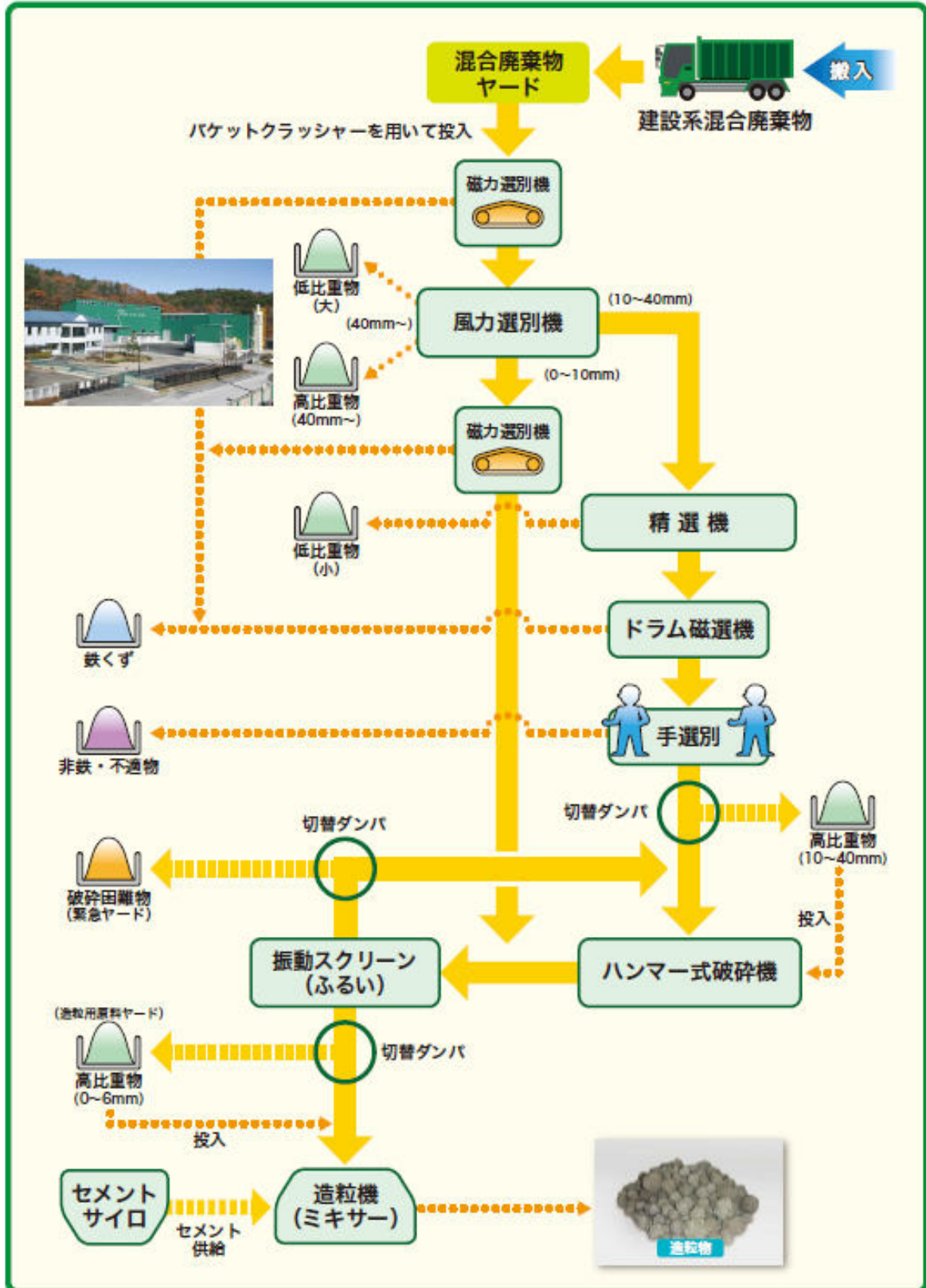


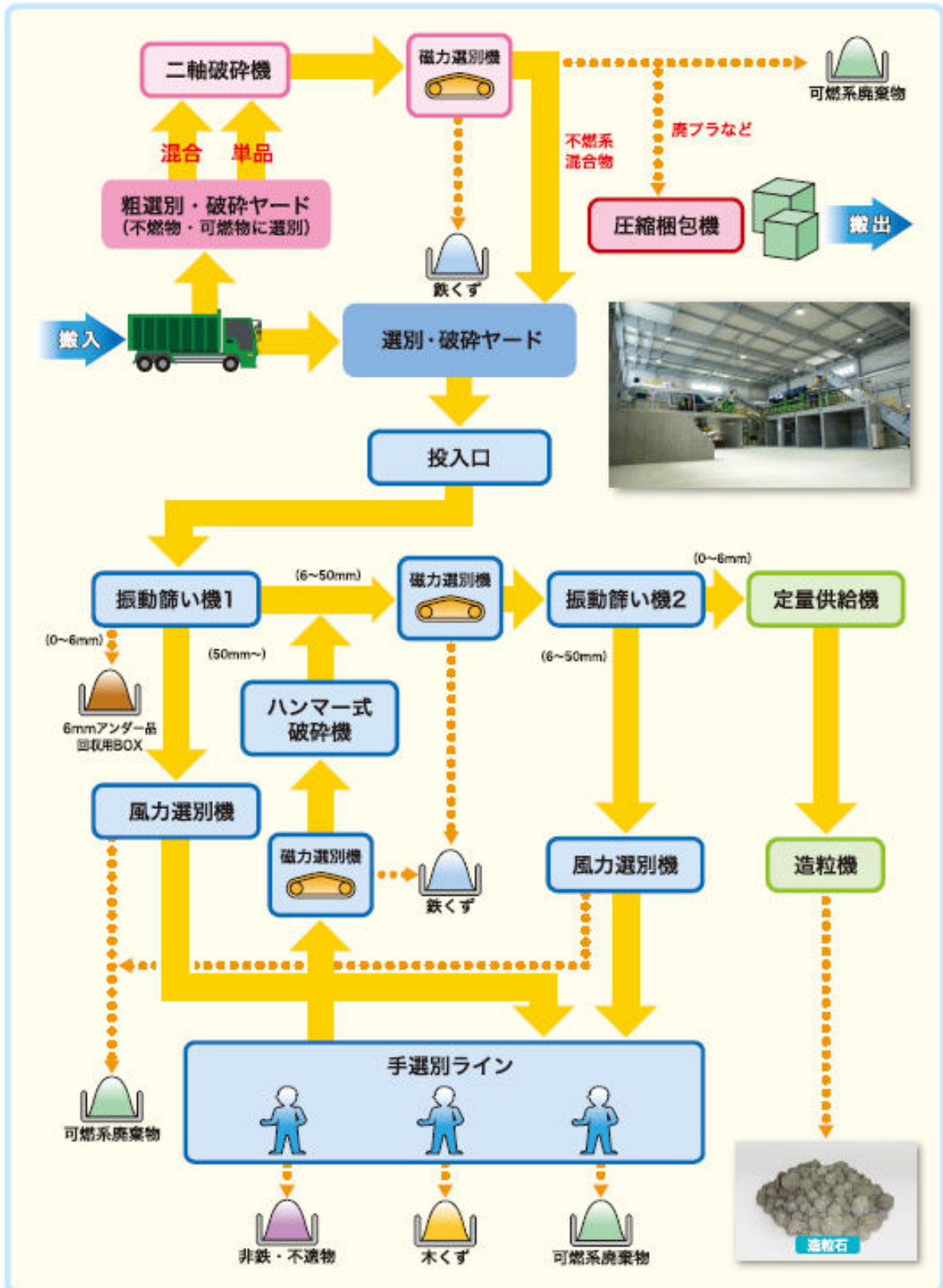
ケイロ・リサイクルセンター仙台 破碎プラント処理フロー図

ケイロ・リサイクルセンター仙台

がれき類 破碎・再生砕石「RC-40」「RCB-40」製造ライン







5. 廃棄物の運搬量・受託量・処分量

集計期間：2022年4月～2023年3月

区分	廃棄物の種類		処理方法等	重量 (t)	
収集運搬	がれき類			9,403	
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず			1,755	
	廃プラスチック類			2,249	
	木くず			5,698	
	紙くず			519	
	繊維くず			296	
	混合廃棄物			13,285	
	金属くず			195	
	廃油			0.1	
	石綿含有物			481	
	蛍光灯			3	
	汚泥			6	
	鋳さい			18	
受託収集運搬量_合計				33,907	
受託産業廃棄物	がれき類		各事業所の処理方法による	76,357	
	廃プラスチック類		各事業所の処理方法による	5,962	
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		各事業所の処理方法による	7,699	
	木くず		各事業所の処理方法による	6,879	
	紙くず		各事業所の処理方法による	351	
	繊維くず		各事業所の処理方法による	449	
	混合廃棄物 (安定型・管理型)		各事業所の処理方法による	28,898	
	金属くず		各事業所の処理方法による	475	
	うち再資源化※	木くず		製品化	8,611
		がれき類、ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず、混合物		製品化	79,300
鉄くず、紙くず、廃プラ			有価売却	1,989	
受託廃棄物量_合計				127,071	
再資源化量_合計				89,900	
中間処理	再資源化	廃プラ、紙、木、繊維		破砕(再資源化)	8,447
		廃プラ、紙、木、繊維		圧縮固化(固形燃料)	2,274
		廃プラ、紙、木、繊維		焼却(燃料化、再資源化)	4,070
	最終	管理型混合廃棄物(委託)		埋立 ※中間処理後の燃え殻含む	5,188
		安定型混合廃棄物(委託)		埋立	6,802
廃棄物処理量_合計				26,782	
一般廃棄物処理量 (福島事業所_木くず)			中間処理 (製品化)	27	

※同月に自社で再資源化したものを集計しているため、全量が同月受入れしたものとは限らない

6. 環境経営方針

●基本理念

ケイワグループは産業廃棄物の収集運搬・再資源化・土木資材製造販売・木質バイオマス発電事業を通じて、持続可能な循環型社会の構築と未来のこどもたちの住みよい環境づくりに取り組みます。

●行動指針

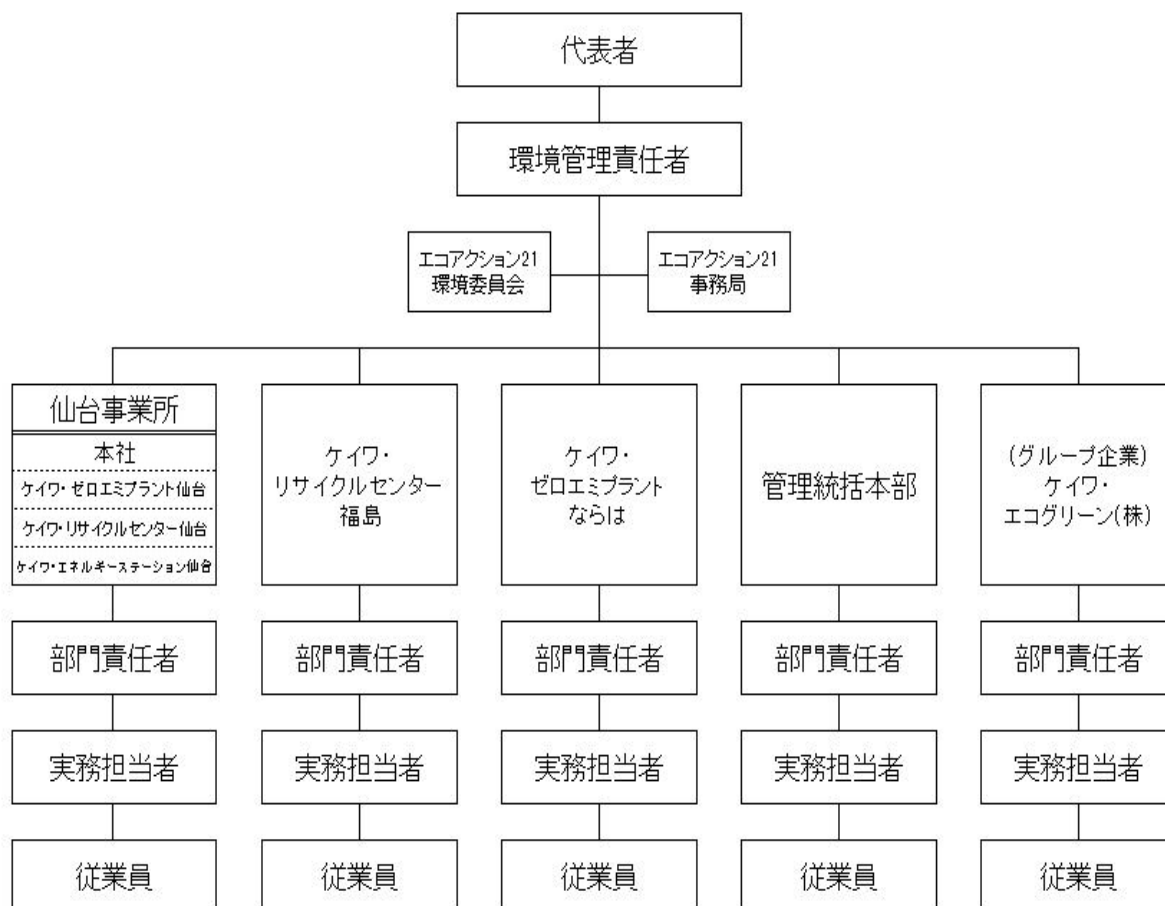
- (1) 受託した産業廃棄物の収集・運搬、処分における環境配慮を推進します。
- (2) 事業活動に伴い発生する二酸化炭素、産業廃棄物、及び水使用量を削減し環境負荷の低減に努めます。
- (3) 事業活動に係る環境関連法規及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- (4) 当環境経営方針を全ての従業員に周知し、全員参加による環境経営システムの継続的改善を行います。

制定 2020年10月1日

代表取締役 笹川 慎太郎

7. 実施体制

【EA21 組織図】



環境管理責任者および担当者の氏名・連絡先

環境管理責任者

ケイワ・エコグリーン株式会社 取締役 開発営業本部長 西谷友里
0240-23-6089 (ならは事業所)

担当者 (エコアクション 21 事務局)

恵和興業株式会社 仙台事業所 仙台営業部 熊谷伊豆美
022-347-9961 (仙台事業所)

8. 役割・権限・責任

代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムに必要な経営資源(人・設備・資金・情報)の準備 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・実施体制の構築 ・環境管理責任者の任命 ・内部環境監査の依頼 ・環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標、環境経営計画の承認 ・全体の評価及び見直し・指示の実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施等全体活動の推進 ・環境経営目標、環境活動計画及び環境経営システム関連文書の作成 ・環境経営目標、環境活動計画及び実施体制の全従業員への周知 ・環境委員会の構成及び運営 ・全社環境経営目標、環境経営計画の推進及び進捗管理 ・環境関連法規制の取りまとめ及び遵守評価 ・環境関連教育の実施 ・代表者による全体評価のための必要情報の報告 ・是正処置及び予防処置の発動 ・環境経営レポートの作成及び公表
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期開催による環境取組結果の報告及び確認 ・環境への取組における問題点の協議 ・環境経営レポート内容の把握 ・内部環境監査の実施
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境への負荷及び取組の自己チェック結果全社版のまとめ ・各事業所環境への取組の実績集計 ・環境関連法規一覧表の作成及び全社遵守評価結果の取りまとめ ・環境関連外部コミュニケーションの窓口 ・内部環境監査計画の作成 ・環境経営レポート原案の作成
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画の周知 ・自部門における環境経営目標、環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の従業員に対する環境教育の実施 ・緊急事態訓練の実施 ・環境管理責任者の指示による自部門関連問題の是正・予防処置の実施
実務担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・部門担当者の補佐 ・自部門における環境への負荷の自己チェック及び取組の自己チェックのとりまとめ
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と取り組みの重要性の自覚 ・環境経営計画に定められた内容の実施

9. 環境経営目標（単年度および中長期）

環境経営目標	2021年度 実績		2022年度 目標		2023年度 目標		2024年度 目標	
	基準年		対基準年比1%減		対基準年比2%減		対基準年比3%減	
CO2 排出量削減（全体）	2,066,868	kg-CO2	1,907,724	kg-CO2	1,888,454	kg-CO2	1,869,184	kg-CO2
福島事業所	506,038		430,868		426,515		422,163	
仙台事業所	495,962		491,003		486,043		481,084	
ならは事業所	381,788		324,389		321,113		317,836	
管理統括本部	40,106		24,921		24,669		24,418	
エコグリーン	642,973		636,543		630,113		623,683	
電力使用量（全体）	1,560,893	Kwh	1,684,591	Kwh	1,667,575	Kwh	1,650,559	Kwh
福島事業所	430,889		* 565,887		560,171		554,455	
仙台事業所	556,165		550,603		545,042		539,480	
ならは事業所	531,453		526,138		520,824		515,509	
管理統括本部	31,295		30,982		30,669		30,356	
エコグリーン	11,091		10,980		10,869		10,758	
CO2排出量（係数：事業所による）※	368,771	kg-CO2	226,609	kg-CO2	224,320	kg-CO2	222,031	kg-CO2
燃料使用量削減								
ガソリン使用量（全体）	31,760	L	31,442	L	31,124	L	30,807	L
福島事業所	4,760		4,712		4,664		4,617	
仙台事業所	7,653		7,577		7,500		7,424	
ならは事業所	6,532		6,466		6,401		6,336	
管理統括本部	10,751		10,644		10,536		10,429	
エコグリーン	2,064		2,043		2,023		2,002	
CO2排出量（係数：2.32）	73,682	kg-CO2	72,945	kg-CO2	72,209	kg-CO2	71,472	kg-CO2
灯油使用量（全体）	726	L	719	L	711	L	704	L
福島事業所	494		489		484		479	
仙台事業所	33		33		32		32	
エコグリーン	199		197		195		193	
CO2排出量（係数：2.49）	1,808	kg-CO2	1,790	kg-CO2	1,772	kg-CO2	1,754	kg-CO2
LPG使用量（全体）	7,053	kg	6,983	kg	6,912	kg	6,842	kg
福島事業所	115		114		112		111	
仙台事業所	65		64		64		63	
ならは事業所	6,797		6,729		6,661		6,593	
管理統括本部	77		76		75		74	
CO2排出量（係数：3.0）	21,159	kg-CO2	20,948	kg-CO2	20,736	kg-CO2	20,525	kg-CO2
廃棄物排出量削減								
一般廃棄物排出量（全体）	4,860	kg	4,811	kg	4,763	kg	4,714	kg
福島事業所	1,260		1,247		1,235		1,222	
仙台事業所	798		790		782		774	
ならは事業所	1,142		1,131		1,119		1,108	
管理統括本部	1,340		1,326		1,313		1,299	
エコグリーン	320		317		314		310	
産業廃棄物排出量（全体）	排出量の把握		排出量の把握		前年比0.1%削減		前年比0.1%削減	
福島事業所	162	kg	160	kg	159	kg	157	kg
仙台事業所	40,970	kg	76,567	kg	75,793	kg	75,020	kg
ならは事業所	排出量の把握		排出量の把握		前年比0.1%削減		前年比0.1%削減	
水使用量の削減（全体）								
水使用量の削減（全体）	3,188	m3	3,156	m3	3,124	m3	3,092	m3
福島事業所	地下水利用（メーターなし）のため使用量の把握不可							
仙台事業所	300	m3	297	m3	294	m3	291	m3
ならは事業所	2,708		2,681		2,654		2,627	
管理統括本部	133		132		130		129	
エコグリーン	47		47		46		46	
受託産廃の環境配慮								
軽油使用量の削減（全体） （重機・収集運搬車等）	620,716	L	614,509	L	608,302	L	602,094	L
福島事業所	163,800		162,162		160,524		158,886	
仙台事業所	98,794		97,806		96,818		95,830	
ならは事業所	113,226		112,094		110,961		109,829	
エコグリーン	244,897		242,448		239,999		237,550	
CO2排出量（係数：2.58）	1,601,447	kg-CO2	1,585,433	kg-CO2	1,569,418	kg-CO2	1,553,404	kg-CO2

※購入電力の排出係数は、東北電力：0.528[kg-CO2/kwh]、NTTファシリティーズ：0.376[kg-CO2/kwh]、オリックス電気：0.0[kg-CO2/kwh]、エフオン：0.0[kg-CO2/kwh]を使用。

10. 環境経営計画

環境目標	取組項目	環境経営計画実施内容
CO2 排出量削減	電力使用量削減	エアコン温度設定の適正化・周知
		不要電源 OFF の呼びかけ・実施
		不要箇所の消灯
		節電シール、ポスターの掲示
		クールビズ・ウォームビズの実施
		照明器具の定期的な点検・清掃・交換
		ブラインドによる日射侵入防止
	ガソリン使用量削減	アイドリングストップの実施
		エコドライブの実施
		車両・タイヤ空気圧などの定期点検
		車両運転経路の見直し（最短距離）
		発電機・溶接機の計画的作業の実施
	灯油使用量削減	ヒーターの不使用時の電源 OFF
		暖房器具の設定温度見直し・管理
	LPG 使用量削減	シャワー温度・湯量の適正利用
夏場はお湯を使用しない(給湯)		
フォークリフトのアイドリングストップの実施		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減	分別の徹底、掲示
		分別利用の指導
		排出量の把握・調査
		水筒、マイ箸の利用推進
		シュレッダー処理紙の再利用
	産業廃棄物排出量削減	マイボトル持参運動の実施
		分別の徹底、再資源化の推進
		産業廃棄物の適正管理
水使用量削減	水使用量削減	節水シール・ポスターの掲示
		節水状況の監視
		事業場内漏水の監視
		適正水量の調整
受託産廃に関する 環境配慮	収集運搬・重機用 軽油使用量削減	アイドリングストップ、エコモード、エコドライブの実施
		重機・運搬車両定期点検の実施
		定期的オイル交換の実施
		運搬経路の見直し
		運搬車両の定期的メンテナンスの実施を指導
		運搬車両のタイヤ空気圧の適正保持

11. 環境経営目標およびその実績

環境経営目標に対する取組結果は下記の通りとなりました

環境経営目標	2021	2022年度		達成状況					
	実績	目標	実績	全体	福島事業所	仙台事業所	ならば事業所	管理統括本部	エコグリーン
CO2 排出量削減 (単位：kg-CO2)	2,066,868	1,907,724	1,924,338	○	△	◎	◎	◎	○
電力使用量 (単位：kwh)	1,560,893	1,684,590	1,436,363	◎	◎	○	◎	◎	◎
CO2 排出量	368,771	226,609	371,447						
燃料使用量削減									
ガソリン (単位：L)	31,760	31,442	22,192	◎	△	◎	◎	◎	◎
CO2 排出量	73,682	72,945	51,485						
灯油 (単位：L)	726	719	232	◎	◎	○	—	—	◎
CO2 排出量	1,808	1,790	578						
LPG (単位：kg)	7,053	6,983	3,034	◎	◎	◎	◎	◎	—
CO2 排出量	21,159	20,948	9,101						
廃棄物排出量削減									
一般廃棄物排出量 (単位：kg)	4,860	4,811	4,237	○	○	○	◎	◎	◎
産業廃棄物排出量 (単位：kg)	41,582	排出量の把握	88,289	◎	◎	△	×	—	○
水使用量の削減 (単位：m3)	3,188	3,156	2,409	◎	—	△	◎	◎	◎
受託産廃の環境配慮									
軽油使用量削減 (重機・収集運搬車等) (単位：L)	620,716	614,510	578,187	◎	◎	○	◎	—	○
CO2 排出量	1,601,447	1,585,436	1,491,722						

【達成率評価基準】

◎ 計画より達成できた(達成率100%以上) ○ 概ね達成できた(90~99%) △ 少し未達成(70~89%) × 大幅に未達成(70%未満) — 該当なし

12. 環境活動状況

内部コミュニケーションの取組み

電子掲示板による月1回の活動結果報告のほか、3ヶ月に1度リモートによる環境委員会を実施。定期報告を含めたグループ全体での共有や活発な意見交換の場としている。



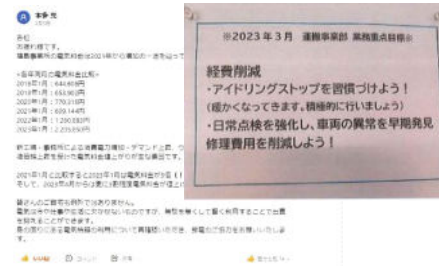
社外から講師をお招きしてカーボンニュートラルに関する勉強会や社内向け EA21 勉強会を実施



2022.6月 環境月間にあわせ「第1回トレジャーマッチング」を開催。自宅に眠る不用品を持ち寄り、必要とする人が引き取る試みによりリデュース・リユースに貢献(福島事業所)



各事業所において、掲示や電子掲示板を活用し周知活動を行った



2022.10月 社用車として電気自動車の日産リーフを納車(福島事業所)

安全・環境配慮



2022.9月 火災訓練(福島事業所)



2022.9月 油類流出訓練(エコグリーン)



あわせて、油類の保管状況の見直しを実施



2022.7月 救命講習(ならは事業所)

清掃・美化活動

2022.11月 ハッピーロードネット主催 国道6号沿い清掃活動へ参加(ならは事業所)



2022.7月 近隣除草作業(エコグリーン)



2022.9月 近隣及び敷地周辺除草作業(管理統括本部)



仙台まち美化サポートプログラム参加 2022年度6回実施(仙台事業所)



募金・寄付活動

2022.9 月 ドナルド・マクドナルド・ハウスせんだいをはじめ 4ヶ所へ、過去作成、在庫していたタオル 380 枚を寄付



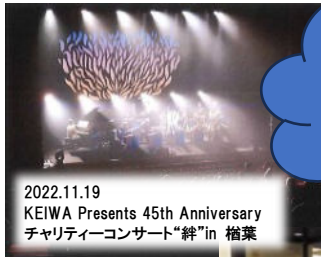
2022.10 月 福島市



2022.10 月 郡山市

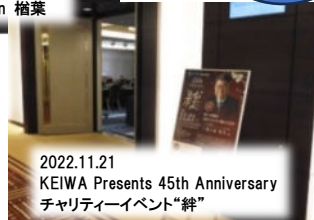


2022.11 月 楡葉町



2022.11.19
KEIWA Presents 45th Anniversary
チャリティーコンサート“絆”in 楡葉

2022.11 月
福島県双葉郡楡葉町と宮城県
仙台市でチャリティーイベントを
開催。皆さんからいただいた浄
財は後日日本赤十字社を通じて
医療従事者へお届けしました。



2022.11.21
KEIWA Presents 45th Anniversary
チャリティーイベント“絆”

2022.11 月
日本赤十字社宮城支部



その他活動（外部コミュニケーション等）

2022.12 月 福島・ならは・仙台の 3 事業所において、省エネ診断実施



専門家による、報告書を
拝受。説明会では有益な
アドバイスをいただいた



2022.7 月
制服リサイクルの周知
(管理統括本部より)

制服の引き取りリサイクルについて

お疲れ様です。
統括本部で行っている制服の引取りリサイクルについてご報告させていただきます。
現在、不要になった制服を(株)コナカ様で引取りをさせていただいております。
コナカ様で購入した制服も、他社で購入した制服も全て無料で引取りをさせていただいております。
引取りいただいた制服はコナカリサイクル部門にて繊維状にし、その後フェルト状に加工
した後、車や新幹線の座席部分の断熱材として再利用されているとの事です。

以上、制服の引取りリサイクルについてご報告いたします。
宜しくお願いいたします。

👍 1 🗨️ コメント 📄 共有 🏆 自分と他 17 人



2022.10 月
楡葉町のイベント「なら
SAN フェス」「花みどり活
動」へ参加。地元の方と
の親睦を深めた



13. 環境経営計画および取組結果とその評価

取組計画	達成状況	評価（2023.3月）
<p>■ CO2 排出量の削減</p>	○	<p>概ね達成。各事業所において、社用車を一部電気自動車へ切替えるなど取り組みを強化した一方、燃料価格高騰の余波による再生可能エネルギー電気価格の急騰で、通常電力への切り替えを余儀なくされ CO2 排出量の増加に繋がったと考えられる。ほかにコロナウィルス対策の緩和により営業活動が本格化、ガソリン使用量が増えたことも一因に挙げられる。</p>
<p>> 電力の使用量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコン温度設定の適正化・周知 ・ 不要電源 OFF の呼びかけ・実施 ・ 不要箇所の消灯 ・ 節電シール、ポスターの掲示 ・ クールビズ・ウォームビズの実施 ・ 照明器具の定期的な点検・清掃・交換 ・ ブラインドによる日射侵入防止 	◎	<p>全事業所達成。100%を超える結果となった福島では施設の稼働方法や処理スキームの見直し、本部では使用量が多くなる冬に備えた夏場の電気使用量の抑制、ならはでは節電の徹底などの取組みによる効果、エコグリーンでは事務所新築による設備更新による効果だと思われる。仙台事業所では、10.12.3月の搬入量が多く工場稼働も増加したものの98%達成という良好な結果であった。不要箇所の消灯、電源 OFF 等の取り組みは継続しながら、使用量が増える冬季においても暖房機の設定温度見直しなど使用量を抑える工夫をしていく。</p>
<p>> ガソリン使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アイドリングストップの実施 ・ エコドライブの実施 ・ 車両・タイヤ空気圧などの定期点検 ・ 車両運転経路の見直し（最短距離） ・ 発電機・溶接機の計画的作業の実施 	◎	<p>リモート会議普及により移動が減少したことや各事業所に電気自動車が配備されたこと、また社用車の振り分けを見直したことで減車になった事業所もあり全体での目標が達成できたと考える。一方で営業の外勤活動が活発な福島事業所では、活動の増加とともにガソリン使用量も増加し未達となった。エコグリーンにおいても3月は営業活動増加に伴い使用量も増加。ならは事業所では電気自動車導入による効果は思うほど得られなかったことから、今後の社用車使用方法について検討するとしている。</p>
<p>> 灯油使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒーターの不使用时の電源 OFF ・ 暖房器具の設定温度見直し・管理 	◎	<p>全体での使用量は、昨年の 1/3 程度に抑え大幅に達成した。エコグリーンでは事務所新築により灯油を使用した暖房を使わず、福島事業所ではシャワー使用の減少が要因と考えられる。仙台事業所では使用量が昨年より増加したため改めて暖房機設定温度の見直しを図る。</p>
<p>> LPG 使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シャワー温度・湯量の適正利用 ・ 夏場はお湯を使用しない(給湯) ・ フォークリフトのアイドリングストップの実施 	◎	<p>全体で 230% の大幅達成。全事業所が 100% を超える結果であり、成果が大きかったならは事業所では、メイン用途のフォークリフト 2 台のうち 1 台を故障・貸出により使用しなかったことが大きい。福島・仙台では気温上昇時のお湯の使用・シャワー使用量の減少による。本部では冬季使用量が多い傾向から設定温度を下げるなどして使用量減少に取組むとのこと。</p>
<p>■ 一般廃棄物排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分別の徹底、掲示 ・ 分別利用の指導 ・ 排出量の把握・調査 ・ 水筒、マイ箸の利用推進 ・ シュレッダー処理紙の再利用 	○	<p>概ね達成。各事業所にて分別の徹底、マイ箸、マイハンカチ使用などにより、排出量を削減した。2023 年度も会社取組としてのペーパーレス化などをすすめる削減に努めるとともに、福島事業所では簡易包装商品を利用するなど廃棄物発生抑制に取組むとしている。</p>
<p>■ 産業廃棄物排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイボトル持参運動の実施 ・ 分別の徹底、再資源化の推進 ・ 産業廃棄物の適正管理 	◎	<p>数年単位で排出する事業所もあり、2022 度も「把握」を目標とした。未達となった仙台事業所では汚泥・燃え殻、ならは事業所では廃油の排出が昨年より多かったため。達成した福島事業所でも引き続きマイボトル持参などによる容器の排出量削減に取り組むとのこと。発生がなかったエコグリーンでは継続して状況把握に努める。</p>

<p>■水使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水シール・ポスターの掲示 ・節水状況の監視 ・事業場内漏水の監視 ・適正水量の調整 	◎	<p>全体で達成。エコグリーンでは事務所新築による節水トイレの導入、井戸水を有効活用したことにより達成。ならば事業所・本部では節水を意識した取り組みによるものと思われる。未達となった仙台事業所では、1-2月にブロック化試験により使用量が一時的に増加したことが要因と考えられる。</p>
<p>■受託産廃に関する環境配慮</p> <p>> 収集運搬・重機用軽油使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ、エコモード、エコドライブの実施 ・重機・運搬車両定期点検の実施 ・定期的オイル交換の実施 ・運搬経路の見直し ・運搬車両の定期的メンテナンスの実施を指導 ・運搬車両のタイヤ空気圧の適正保持 	◎	<p>アイドリングストップやエコモードでの使用、メリハリのある稼働など日頃の取組みの甲斐あり全事業所で達成した。仙台事業所、エコグリーンでは搬入量、運搬台数が増加したもののそれぞれ99%、92%の達成率で終えることができた。事業活動の影響が出やすい項目ではあるが、前途取り組みは浸透しており継続しておこなうことで今後も削減に努めていく。</p>

14. 環境関連法規等 遵守状況の確認と評価

当社に適用となる主な環境関連法規等について、遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また過去3年間、関係行政当局からの違反等の指摘や訴訟等はありません。

法規制の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の収集運搬業許可、産業廃棄物処分業許可、一般廃棄物処分業許可 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の収集運搬に関する基準 産業廃棄物の処分に関する基準 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の保管基準、届出義務等 産業廃棄物の委託基準 産業廃棄物管理票および電子情報処理組織の使用	○
消防法	消防用設備等の定期点検と結果の報告、事故時の処置	○
福島市火災予防条例 双葉地方広域市町村圏組合火災予防条例 仙台市火災予防条例 郡山地方広域消防組合火災予防条例	指定数量未満の危険物の貯蔵及び取り扱いの基準、届出等	○
道路運送車輛法	自動車の登録、安全運転義務の徹底	○
道路交通法	安全運転管理者の選任・交通安全教育の実施	○
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	○
浄化槽法	設置・変更の届出、保守点検・清掃、水質検査	○
環境省関係浄化槽法施行規則	清掃記録保存義務	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品の設置及び使用する環境の維持保全、簡易点検及び定期点検、フロン類の漏洩時の措置、点検及び整備に係る事項 フロン類の一定量以上漏洩時の報告義務、適正な廃棄および処分費用負担、回収依頼書又は委託確認書の発行と保存義務、フロン類の放出禁止	○
水質汚濁防止法	事故時の措置（油を含む水の流出等）	○
騒音規制法	規制基準の遵守	○
振動規制法	規制基準の遵守、設置の届出	○
資源の有効な利用の促進	廃棄物の3Rの推進	○
グリーン購入法	環境物品等を選択するよう努める	○

15. 代表者による全体評価と見直しの結果

2022年度は、目標としていた認証登録を取得することができた。次の目標である優良認定取得に向け、しっかり活動していきたい。

取り組み内容は、各部門とも丁寧にデータをまとめており、全員参加の意識が定着してきたと感じている。環境委員会組織のもと、役割分担や環境教育等の工夫により、新入社員への意識づけも含め、ひとりひとりの意識向上を図ってほしい。会社側としても、環境配慮の観点からノー残業デーや夏季ノーネクタイの推奨なども考えている。

また、2023年度からの新しい試みとして原単位当たりの評価をしていく。

「原単位」については各事業所の事情に応じた単位設定が必要な部分もあり、グループ全体で統一するのは困難かもしれないが、試行錯誤で取り組んでもらいたい。



16. 次年度の環境経営計画

環境目標	取組項目	2023年度 環境経営計画_実施内容
CO2 排出量削減	電力使用量削減	エアコン温度設定の適正化、リモコンの適切利用
		設備稼働待機時、不要箇所の電源OFF
		ノー残業デーの設定と徹底
		クールビズ、ウォームビズの実施
		サーキュレーターの使用
		定期フィルター清掃
		冷蔵庫の適正管理
	ガソリン使用量削減	エコドライブ、アイドリングストップの実施
		運転経路の見直し（最短）
		車両・タイヤ等の定期点検実施・適正管理
		コンプレッサー・発電機・溶接機の計画的作業の実施
	灯油使用量削減	暖房設定温度の徹底
		暖房不使用時電源OFF
LPG 使用量削減	シャワー使用時の温度と湯量の適正使用	
	フォークリフトのアイドリングストップ	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減	排出量の調査、把握、管理
		分別の徹底、分別利用・減容化の推進
		排出量抑制の取組み
		町内美化活動
		シュレッター処理紙の再利用
	産業廃棄物排出量削減	排出量抑制の取組み
		排出量の把握
		再資源化の推進、適正管理
水使用量削減	水使用量削減	節水シール、ポスターの掲示
		節水状況、漏水の監視
		水量の調節
受託産廃に関する 環境配慮	収集運搬・重機用 軽油使用量削減	エコドライブ、アイドリングストップの実施
		運転経路の見直し（最短）
		車両・重機・タイヤ・オイル等の定期点検実施・適正管理